

しびれ



発症時期

早ければ抗がん薬投与から3～5日。数週間後の場合もあります。投与回数を重ねるにつれて、しびれが強くなっていくことがあります。

オキサリプラチンのしびれについて

オキサリプラチン投与後のしびれには、投与から数日で改善する急性のしびれと、症状が遷延する持続性のしびれの2種類があります。急性のしびれは冷たいものに触れることによって、症状が出やすくなります。持続性のしびれは投与回数を重ねるにつれて増強していきます。

持続する期間

抗がん薬投与終了後半年～1年。回復には個人差があり、より長期になることもあります。



出現しやすい部位

手のひら～手指、足の裏～足の指に出現することが多いです。温罨法（湯たんぽなどで温める）、マッサージ、手足の運動などでしびれが和らぐことがあります。

※しびれを予防する方法や和らげる方法は、現時点で確立されたものではありません。

※内服薬でしびれが和らぐ場合もあります。しびれが出てきた時は、主治医や看護師、薬剤師に相談してみてください。

しびれが起こりやすい抗がん剤

一般名	商品名
ビンクリスチン	オンコビン®
ビンブラスチン	エクザール®
ビンデシン	フィルデシン®
ビノレルビン	ロゼウス®
パクリタキセル	パクリタキセル®
パクリタキセル アルブミン懸濁型	アブラキサン®
ドセタキセル	ドセタキセル®
カバジタキセル	ジェブタナ®
エリブリン	ハラヴェン®
シスプラチン	シスプラチン®
カルボプラチン	カルボプラチン®
ネダプラチン	アクプラ®
オキサリプラチン	エルプラット®
ボルテソミブ	ベルケイド®
ポラツズマブ ベドチン	ポライビー®
エンホルツマブ ベドチン	パドセブ®

R5年12月現在採用薬剤

日常生活での注意点



- 刃物を使用するときは、外傷に気をつけましょう。
- 足にしびれがある場合は、足の運びがスムーズにならないことがあるため安全な履物を使用してしましょう（足をしっかりと固定でき、滑りにくいもの）。
- 感覚が鈍くなっていると、低温やけどを起こすことがあります。ストーブやコンロ、カイロなどを使用する時は注意しましょう。
- ボタンのつけはずしや薬の取り扱いなどの細かい作業がしづらくなることがありますので、ご家族に協力を依頼するなど、方法を工夫することが必要です。
- 日常生活に影響が出た場合、抗がん薬を休薬することもあります。